

全国教育研究所連盟公募研究について

令和6・7年度全国教育研究所連盟（以下全教連）公募研究に応募し採択となった。この推進に向けてプロジェクトを発足し、研究内容に係る協議・検討を行う。

1 全教連研究

(1) 応募テーマ（全教連が設定した公募テーマ）

「研修観」の転換を通じた新たな教師の学びの実現に向けた教育センターの在り方

(2) 応募研究課題名（当センターが設定した課題名）

新たな教師の学びの実現に向けた教育センターの在り方

—これまでの研修システムの総括と新たな研修モデルの構築を通して—

2 研究の目標と目的

(1) 目標

教師の主体的な学びの充実のために、「自己研修の進め方」を柱に据えた研修体系の構築を図る。
⇒「研修観」の転換

(2) 目的

ア 研修者が負担感を感じる「自己研修」を、自身の課題解決、スキルアップを実感する研修へとブラッシュアップし、学び続ける（主体的に研修、研究に励む）教師の育成を目指す。

イ センター所員が「自己研修」のねらいと講座の進め方を理解し、講座運営の質的向上を図る。（所内の意識向上＝公募テーマにある教育センターの在り方につながるもの）

3 目標について

(1) 目指すゴール像

全教連テーマの文書構造を整理すると

- ①「教師の新たな学びの実現」のために
- ②研修指導主事等が「研修観の転換」を図り
- ③「教育センターの在り方」を見直す

と解釈できる。この中の②については、目標というよりプロジェクトの目的と捉え、最終目標は研修者（＝教員）の意識改革のために、何が必要かを明らかにすること。

(2) 目標達成の手立て

当センターで実施している「自己研修」は、個々の教員がメタ認知に基づいてテーマ設定し、実践を行うものであることから、①「自己研修」の充実をどのように図るか②学び続ける教師の意欲を高めるために、研修体系の中にどのように位置付けるかを整理することが手立てとなる。

4 目的について

(1) 研修者の負担感

- ・日常の教科指導、生徒指導、分掌業務等に追われ多忙感を感じている。
 - ・「自己研修」は、多忙感に拍車をかけるだけのものとなっており、レポートは形骸化する。
- ⇒（原因）「自己研修」が本来のねらい通り機能していない。

⇒ (対策)「自己研修」のブラッシュアップを図り、研修によって自己課題の解決を図り、「負担感」を「有用感」に変容させる。

(2) 所員の共通理解

「共通理解」は、集団の中での個々の立ち位置が違えば成立しない。本プロジェクトにおいて最も大切なのは、全所員が「自己研修」について課題意識を持つこと。そして研修講座の充実を図りたいと思うこと。更に研修指導主事として自身のメタ認知が行えること。

<評価の視点>

- 本研究を次年度のセンター運営における重要な柱となることを理解している。
- プロジェクト会議の優先順位を自身の業務の上位に位置づけることができる。
- プロジェクト会議の内容を担当室員等に伝え、理解を促すことができる。
- 自身の資質・能力の向上を図りたいと願い、そのために謙虚に協調できる。
- 合意形成のための発言や周囲との協調、共感的な自己主張を行うことができる。

5 実践経過（令和6年度の取り組み）

4月	各担当室横断の研究プロジェクトチーム発足 <プロジェクトチームの役割> ・所員全大会での学習会の企画・運営 ・学習介護の取り組みの評価と次回学習会へ向けての協議
	学習会① 研究概要説明（研修部長）
5月	学習会② <テーマ>自己研修のねらいが達成された研修者の姿
7月	学習会③ <テーマ>学習会で学ぶ6つのテーマ ・テーマ設定 ・リフレクション ・ファシリテーション ・協議と演習 ・研修者の意識の変容 ・その他
9月	学習会④ <テーマ>研修者が自己課題と向き合い、テーマ設定する力を育むために 研修指導主事は、どのような視点を持って傾聴し、どのように 気づきを引き出すか。
12月	学習会⑤ <テーマ>研修者のメタ認知のきっかけとなる対話の流れとは

※上記以外に nits（教職員支援機構）及び関係機関への視察訪問とディスカッション

6 今後の予定

- ・「自己研修の進め方」のテキスト改訂
- ・「自己研修の進め方」の説明用共通スライドの作成
- ・「自己研修の進め方」を中核に据えた継続的な研修体系の整理
- ・令和7年度研修における検証
- ・研究のまとめと発表

<参考資料>

- ・令和6年度 教員のための自己研修の進め方ーアクション・リサーチの手法を用いてー
https://www1.iwate-ed.jp/03kenshu/r06/pdf/r06_jikoken_textbook.pdf
- ・令和6年度 初任者・2年目・3年目研修における自己研修の進め方【ガイドブック】
https://www1.iwate-ed.jp/03kenshu/r06/pdf/r06_jikoken_guidebook.pdf